

## 2023年度学校評価

自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人百羊学園 昭島幼稚園

## 1. 本園の特色と教育目標

## ▶キリスト教的な愛に基づく保育の実践

- ・心が育つ保育
- ・個性を認め合う仲間づくり
- ・平和で民主的な生活環境

## ▶総合的な学びの実践

- ・ゆたかな直接体験
- ・個の充実と幅広い体験

## ▶家庭と共に歩む保育の実践

- ・親子登園、お弁当の幼稚園
- ・充実した父母会

## 私たちが目指すもの



私たちはキリスト教的愛の精神の下、すべての子どもの人権を尊重し、個性や多様性を受け入れて保育にあたります



私たちは子どもの健やかな成長を願い、その実現に向けた環境や関わりを常に研究・検証し、地域の関係諸機関とも連携して幼児教育のさらなる発展を目指し取り組みます



私たちは子育てにあたる家庭をサポートし、子どもの成長を共に支え、豊かな交し合いを通じて「家族の強い絆」の構築に貢献できるよう努めます



学校法人百羊学園 昭島幼稚園

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

## ▶「選ばれる幼児教育施設を目指して」

オープンエデュケーションをモットーに保育を家庭に届け、園児の今を親御さんが把握し、また関心をもって園と共に子育てにあたっていけるように努める

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目          | 評価 | 取り組みの様子  |
|---------------|----|--|
| 1 保育の公開、情報の開示 | A  | 自分たちの行っている保育活動や考え方などを常に利用者目線で捉え、積極的に開示していった。<br>・昭島幼稚園のミッション（上記）開示<br>・保育カリキュラムの公開（説明会などの実施）<br>・家庭への直接の保育報告、懇談の実施<br>・親御さんの保育参加の機会を設ける等 |
| 2 インクルーシブ保育   | A  | “どの子にとってもゆたかな幼児期を提供する幼稚園”を目指し、障がいを持った幼児も積極的に受け入れ、皆で支え合いながらの生活を積み重ねることによって「愛の共同体」ともいべき温かな社会を作り上げることができた。                                  |
| 3 豊かな直接体験     | A  | 新型コロナの5類移行を受け、これまで縮小していた園外活動も積極的に行えた。各クラスとも月に一回は多摩の自然の中で四季折々の自然と出会い、ゆたかな直接体験をすることができた。   |

評価（A：十分に成果があった B:成果があった C:少し課題を残した D:成果がなかった）

## 4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理由  |
|----|---|
| A  | 自分たちが行っている保育をあらゆる手段で多くの家庭に届けることができ、これまでよりも家庭との距離感が縮まったように感じた。これからも利用者の目線で捉え、保育に関心を寄せてもらえるように努力していきたい。 |

評価（A：十分に成果があった B:成果があった C:少し課題を残した D:成果がなかった）

## 5. 今後取り組むべき課題、次年度への展望

| 課題・展望 |              | 具体的な取り組みなど   |
|-------|--------------|--|
| 1     | よりよい保育の研究、実践 | 幼児の健やかな成長のためによりよい活動や体験などを提供できるよう、「より良い保育の研究、実践」を目指し保育にあたる教師が向上心をもって仕事にあたる。 |
| 2     | 家庭との連携強化     | 家庭に保育の現状を伝え関心を高められる機会として、保育参観などの機会を増やすなどオープンエデュケーションの実践に努める。               |
| 3     | 地域社会との連携強化   | 近隣の商店や施設などとの交流や連携を深め、地域に根差した幼稚園として歩めるよう具体的に取り組む。                           |

## 6. 学校関係者評価（評価：昭島幼稚園父母会 / 学校法人百羊学園評議員会）

昭島幼稚園は親子登園ならではの「良さ」にあふれた幼稚園です。先生とも毎日顔を合わせて家での様子や園での様子を直接交し合えるし、他のお友達の顔や個性も分かり、親御さんとも顔見知りになれるので、時間が経つほどに不安材料がなくなります。毎月のように開かれる父母会でも保育の様子がよく分かり、またボランティアの機会もあるので気軽に保育に参加することもでき、わが子のみならずクラスの子どもたちにも自然と関心や愛情がわいてきます。先生やお母さんたちの笑顔に囲まれて“子どもたちがすくすく成長している”ことがよく伝わってきます。

（昭島幼稚園父母会）

自分たちの仕事をオープンにしていこうとする取り組みは大変良いことであると考えます。なぜなら、その過程で必ず自分たちの仕事を客観視し、あるいは俯瞰することによって、受益者である子どもに対して、或いは家庭に対して何を与えるのが良いことなのかを考えるきっかけとなるからである。これからも教育の受け手である子どもたちにとって質の高い教育を行い、また“どの子にとってもゆたかな幼児期を提供する幼稚園”を目指し、家庭を始め地域社会や関係者との連携を大切にしながら歩んでいきたい。

（学校法人百羊学園評議員会）